文化芸術立国中期プラン(概要)

~2020年に、日本が「世界の文化芸術の交流のハブ」となる~

「現 在〕 「世界に誇る我が国の文化力」を保有

> 例:各地で行われる芸術祭、祭り・郷土芸能、神社・寺院 古民家、創造都市、美術館・博物館・劇場



[2020年までの期間]「国力」である文化力の強化期間

2020年までに、日本各地の文化力の顕在化. 基盤の計画的な強化

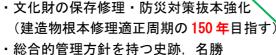


く 人をつくる > (施策例)

福島市の小学校で

- ・子供の文化芸術体験の充実
- ファシリテーターの育成 (芸術をかみ砕いて、楽しく解説する人材)
- · 伝統芸能 · 伝統工芸**後継者**育成
- 新進芸術家の海外研修
- ・学校での体験型ワークショップ充実
- ・トップレベルの芸術活動への支援
- ・芸術系大学の実践的カリキュラム開発

く 地域を元気にする > (施策例)





◎第31回ヨコハマカ ーニバル

- (現在 400 件→ 800 件へ) 歷史文化基本構想策定自治体数
- (現在 20 地域→100 地域へ)
- ・創造都市ネットワーク加盟自治体数 (現在 32→170 へ)
- ・寄附文化の醸成

< 世界の文化交流のハブとなる > (施策例)

- ·「伝統+ポップカルチャー」で発信強化

米国で雅楽のワー

クショップ

- ・海外発信サイトの充実 (訪問回数 100 万回→200 万回へ)
- 衣食住の海外発信を強化
- メディア芸術祭の強化
- ジャパン・ウィークを通じた発信
- ・世界創造都市サミットの開催
- 東アジア文化交流使構想実現
- ・東アジア文化都市での交流事業

2020年

国

強 田 な 形 戍

> 全国の自治体、芸術家等 とともに、文化イベント

日本津々浦々で、 文化での発信/人の往来



織

施

組

制

度

 \mathcal{O}

整

備